

# しあわせなまちをデザインする ワークショップ 発表会

8月30日 午後2時～ ◆ 東浦町勤労福祉会館 2階 C会議室

第1回のワークショップでは、全地区集まってこれからのワークショップの進め方などを説明し、2回目から7回目は各地区に分かれて、それぞれの地区のまちづくりを検討してきました。

ワークショップでまとめた各地区の報告書について、再度全地区集まって発表しました。

発表会に際し専門的な見地から講評をいただくために名城大学理工学部准教授 大影佳史氏を講師として依頼しました。

発表では各地区の代表者から各地区の特長や特に重点を置いている内容について、熱意あふれる発表が行われました。

**森岡地区** 冒頭に人口問題やどんなまちが必要なのかに触れていただき、それらを視点に検討されたそうです。主な内容としては、森岡駅東にロータリーの整備、森岡工業団地の拡張、市街化区域の外縁部の住宅系土地利用、森岡台団地から北へ行く沿道の近隣商業的土地利用などが発表されました。

**緒川地区** JR武豊線より東側を津波対策として住宅系を制限して商業系土地利用とし、さらに国道366号バイパス沿いを商業系の沿道型土地利用として促進、また新たな住宅地においては、十分な隣棟間隔や緑を確保したゆとりある住宅や敷地内に畑、菜園等がある田園住宅を誘導して環境や個性を生かした東浦らしい住宅地づくり、景観上有効な歴史的建物などの既存ストックの保全、活用、岡田川や明德寺川を親水空間として整備することなどが発表されました。

**緒川新田地区** 都市計画道路の整備と合わせて周辺を一体的に整備する案や、西の玄関口として巽ヶ丘駅東側を整備することなどが発表されました。

**石浜地区** 既存の石浜工業用地への工場立地の早期実現や地区の活性化のため、さらなる工業用地の確保に石浜駅東の工業系の土地利用とすること、豆搗川の親水空間として整備、町民ホールの建設などが発表されました。

**生路地区** 東浦駅東にロータリーの整備、JR武豊線東側の津波避難所の整備、東浦高校西への東浦中学校の移転、歴史ある建物などの既存ストックや、弘法みちの保全利活用などが発表されました。



**藤江地区** 藤江線の早期全線開通、地区内の主要な箇所を通り「う・ら・ら」のバス停をつなぐ地区内自主運営公共交通手段の検討、避難所への避難路の確保として三丁公園へのアクセス道路の整備などが発表されました。

なお、全地区を通じて都市計画道路の整備促進や狭い道の拡幅について発表がありました。

大影先生には各地区の発表の度に講評をいただきましたが、最後のまとめではこのような講評をいただきました。



各地区とても熱心に、身近な問題をよく捉えて、アイデアがでてきている。それぞれの個性がでていて、各地区が競い合って全体の東浦がよくなっていく、そのような印象を受けた。

今回のワークショップでのやり方は課題から解決策を導くものだが、地区の良いところを発見して、そこから考える方法もよいと思うので機会があれば、試していただきたい。

公共空間をどうやって作っていくのか自分たちでどれだけかかわっていけるのか、今までは行政がつくってきたが、これからは使う人が考えてつくる、それを行政がどこまでバックアップできるか、そのような考え方に昨今は変わってきている。自分たちでどうしようか考えることで、それに見合った公共空間なり、街並みができてくると思う、今後いろんなことでつながって、つながっていくことが大事だと思う。

住民が管理等に関わって参加していく、「まちづくり」という単語は「づくり」という動詞が含まれているが、誰がやるのか、ということを見ると私たちみんなでやるという意味があると思うのでこの先につないでいけるとよい。そのための種やいろいろな要素がワークショップの報告書たくさん含まれているので、それを吸い上げて実際のまちを空間化していく、ソフトもハードも含めてつくっていく、行政も住民一緒になってやっていくとよいと思う。

## 発表会参加者の感想

- 他地区の人がどのように考えているかがわかりとてもよかった。現実どのように変わるかわからないが理想的なまちを作る考えをもつのは大切です。
- それぞれの地区における問題点等、わかりやすく聞くことができ、東浦全体のイメージがつかむことが出来てよかった。
- とても貴重な体験でした。あらためて自分の住む町を今までと違った観点から考える時間を持ちました。
- 国道366号線沿いの土地利用は、工業、農業どちらにするのか、無理して農地からの変更は不要に思います。
- 私自身名古屋中心よりこの地に住むことになって自然と共存の町であっていいと思います。整備が進むことによって里山等の現在の環境がなくなって行くのではないかと少し不安を持っています
- まちづくりに参加して町の実態が勉強でき良かったです。出来ることから関わっていきます。